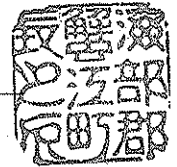




19蟹土発第42号
平成19年5月1日

国土交通省 道路局長 殿

愛知県海部郡蟹江町長 横江 淳



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日、国道企第114号で依頼のありましたみだしのことについて下記のとおり提出いたします。

記

地域に密着した市町村道は、地域住民の暮らしにおいてその利便性・安全性が要求されるものであり、また地域の連携や振興、さらに福祉や緊急医療にも貢献する役割を担っています。

とりわけ国道・県道はその骨格を形成するものであり、地域住民がこれらの道路整備に寄せる期待は非常に大なるものと認識しております。

当地域においては東名阪自動車道を始め国道1号、23号の東西幹線道路が形成されていますが、南北幹線においては西尾張中央道に集約しているのが現状であります。

愛知県をはじめ関係市町村で組織する東海北陸自動車道南伸建設についての動向は、現時点においてはまだ大きな進捗をみるに至っておりませんが、計画の早期具現化が図られることを願うものであります。

また、本年から用地買収を始め本格的な事業着手となる国道1号日光大橋架替事業の早期完成とともに、西尾張中央道付近で発生している慢性的な交通渋滞の緩和が図られることを望んでおります。

このため、次の事項を考慮した道路計画に強く期待するものであります。

- 1 住民と隔たりを持たない事業の進捗
- 2 十分な現状把握とポイントを絞った渋滞対策
- 3 重点的な緊急輸送路の確保